（注）資料の中で、水俣病全体についてのことは「水俣病」と、新潟水俣病についてのことは「新潟水俣病」と書いてあります。

※1　今では、工場排水に混じって流された無機水銀も海や川の中にすむ微生物のはたらきによりメチル水銀になることがわかっています。



Q3　新潟水俣病の原因はなんですか？どのようにして発生したのですか？



A3　工場から流されたメチル水銀が基となって新潟水俣病（有機水銀中毒）が発生しました。食物連鎖によりメチル水銀が川魚に取り込まれ、それを人々が食べたことによるものです。

新潟水俣病を発生させた昭和電工鹿瀬工場は、1936（昭和11）年（その時は昭和合成化学工場）から酢酸や酢酸ビニルなどの原料となるアセトアルデヒドを生産していました。

その際に使った水銀が、毒性の強いメチル水銀※1に変わり、工場排水に混じって阿賀野川に流され、それが食物連鎖を通じてプランクトン、水生昆虫、魚へと取り込まれ濃縮されたのです。

それを知らずに人々は川魚を多く食べたことで新潟水俣病が発生したのです。

（注）昭和電工㈱は、2023（令和5）年に「㈱レゾナック・ホールディングス」に社名変更。



Q4　水俣病にはどんな症状がありますか？



A4　手足のしびれなどの様々な症状があります。また、人によって症状の現れ方に違いがあります。

「手足のしびれやふるえ、耳鳴り、こむら返り、うまく歩けない、言葉をうまく話せない、見える範囲がせまくなる、耳が聞こえにくい、頭痛、味やにおいがわからない」など様々な症状があり、また、人によって症状の現れ方に違いがあります。

水俣病が発生した当初は、とても症状の重い人がいて、ひどい場合は死んでしまうこともありましたが、患者の多くは外見からは健康な人と見分けがつかず、そのため、周りの人からわかってもらえず、ニセ患者などと見られて苦しんでいる人もいます。